

「パンと塩を共に食べた仲

：エジプトにおける人づきあいから考える」

日時 2020 年 1 月 29 日 (水) 16:20~17:50

会場 文教大学越谷キャンパス 4 号館 437R

講演者 岡戸 真幸 氏

(人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター/
上智大学研究機構イスラーム研究センター)

日本から遠いアフリカ大陸にあるエジプトについて、ピラミッドなどの世界遺産やイスラム教などを思い浮かべる一方で、現地でどのように人々が生活し、何を考えているかを知る機会は少ないかもしれません。私は、人類学を専門とし、長年、同国の港湾都市アレクサンドリアで農村から都市への出稼ぎ労働者や地方出身者が作る相互扶助団体を調査してきました。「パンと塩を共に食べた仲」とは、現地の人との交流が増すなかで、親密さを表す言葉としてよく耳にしました。今回の講演会では、エジプト人の家族や近所づきあいから、助け合いなどを含めた人同士のつながりのあり方について、現地での体験をお話しします。

ポスターはこちらです ⇒ 2019 年度講演会ポスター

令和
元年度

異文化体験講演会

「パンと塩を共に食べた仲

：エジプトにおける人づきあいから考える」



岡戸 真幸 氏

(人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター/
上智大学研究機構 イスラーム研究センター)

2020年 1月29日 (水) 16:20～17:50
4号館3階 437 教室

日本から遠いアフリカ大陸にあるエジプトについて、ピラミッドなどの世界遺産やイスラム教などを思い浮かべる一方で、現地でどのように人々が生活し、何を考えているかを知る機会が少ないかもしれません。私は、人類学を専門とし、長年、同国の港湾都市アレクサンドリアで農村から都市への出稼ぎ労働者や地方出身者が作る相互扶助団体を調査してきました。「パンと塩を共に食べた仲」とは、現地の人との交流が増すなかで、親密さを表す言葉としてよく耳にしました。今回の講演会では、エジプト人の家族や近所づきあいから、助け合いなどを含めた人同士のつながりのあり方について、現地での体験をお話しします。

お問い合わせ TEL:048-974-8811

※ご来場には公共交通機関をご利用ください。
※事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。



主催：大学院附属言語文化研究所

